

がんの遺伝カウンセリング 知っておくべきこと

がんの遺伝カウンセリングは、カウンセリングを受ける本人または家族の方にがん歴があるために、がんになる可能性が高くなる方を対象としています。遺伝カウンセラーとは、本人とその家族の病歴を調べて、がんになるリスクが高いかどうかを評価するのに貢献する医療提供者のことです。遺伝カウンセリングを受けるかどうかはあなたの選択です。

以下の情報は、遺伝カウンセリングがあなたにとって適切かどうかを判断するのに役立ちます。

がん遺伝カウンセラーに相談する理由?

遺伝的リスクを示唆するがんの既往歴や家族歴がある方は、がん遺伝カウンセラーに相談するとよいでしょう。家族にがんの遺伝的リスクがある人がいるかもしれないという手がかりには、以下のようなものがあります。

- 通常よりも若い年齢（50歳未満で診断）でがんと診断された
- 男性乳がんなどの稀ながん
- 複数の種類のがんと診断されている
- 家族に同じまたは関連する種類のがんを患っている方が複数人いる
- リンチ症候群または遺伝性乳がんや卵巣がん症候群などの、遺伝性がん症候群の本人のがん歴または家族歴がある

上記のリストは、がんの遺伝カウンセラーに診てもらう理由をすべて網羅しているわけではありません。遺伝カウンセラーに診てもらうかどうか判断に迷っている方は、かかりつけの医師にカウンセリングがあなたにとって適切かどうか尋ねてください。



遺伝カウンセリングの受診中に起こること?

遺伝カウンセラーと面談し、場合によっては医師などの他の医療提供者とも面談します。この面談では、本人および家族の病歴について話し合いをします。遺伝カウンセラーが遺伝子検査について説明し、遺伝子検査が自分に適しているかどうかを判断するのに役立つ利点とリスクを検討します。遺伝カウンセラーは、あなたのがんのリスクが高まっているかどうかを評価し、がんを予防するための選択肢について話し合います。



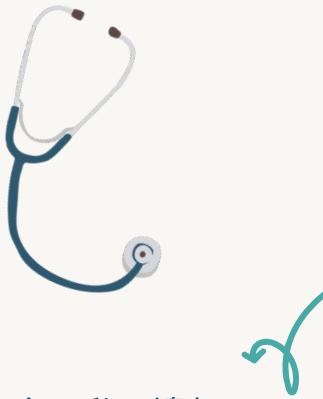
遺伝子検査にはどのようなサンプルが使用されるか?

遺伝子検査を受ける場合、通常は血液、唾液、または頬の綿棒サンプルを採取します。稀に、医療提供者が別の種類のサンプルを要求する場合があります。



遺伝子検査を受けると、どのような情報が得られるか?

がん遺伝子検査の目的は、遺伝子が遺伝的に変化し、がんのリスクが高まるかどうかを調べることです。遺伝的にがんのリスクがある方の場合、医療提供者ががんになる可能性を減らしたり、早期発見したりする方法が多く存在します。ある人が遺伝的にがんのリスクがある場合、その家族の方もリスクがある可能性があります。この情報を家族の方と共有することをお勧めしますが、それをするかどうかはあなたの選択です。遺伝カウンセラーは、あなたが希望するなら、身内の方とこの件について話し合うのを手伝ってくれます。



カウンセリング結果が自分の医療に どのような影響を与えるのか?

遺伝的にがんのリスクがある場合、医師は年齢が若いうちからがん検診を始めること、より広範囲でより頻繁な検診を行うこと、またはがんリスクを減らすための手術を提案します。遺伝的にがんのリスクがない場合は、ほとんどの場合、一般的ながん検診を受けることになります。すでにがんにかかったことがある人の場合、遺伝子検査の結果が治療の指針となります。他の種類のがんのリスクや、それらのリスクを減らす方法についても知ることができます。

保険会社や雇用主は私の遺伝子 検査の結果を利用して保険の 適用を拒否できますか?

遺伝情報差別禁止法 (Genetic Information Nondiscrimination Act, GINA) と呼ばれる米連邦法が定められており、健康保険と雇用の両方において遺伝情報に基づく差別から人々を保護しています。この法律は、米国軍人や従業員が15人未満の企業など、一部の雇用主には適用されません。GINAは、長期介護、障害、または生命保険会社による差別から人々を保護するものではありません。つまり、保険会社は遺伝的状態についてあなたに質問することが許可されており、この情報をを利用して補償と保険料に関する決定を下すことができます。



この診察にはかかりつけの 医師の紹介状が必要ですか?

状況によります。遺伝クリニックまたは保険会社から、医師からの紹介状をもらうよう依頼されることがあります。紹介状がなくても遺伝カウンセラーに診てもらうことはできるかもしれません。遺伝カウンセリングが有益だと思われる場合は、医師に相談してください。

私の保険は遺伝カウンセリングを 補償しますか?

状況によります。多くの保険会社が遺伝カウンセリングを補償していますが、保険会社に直接確認してください。コペイ（自己負担金）が発生する場合があります。



私の保険は遺伝検査を 補償しますか?

本人の病歴から遺伝的にがんのリスクがある可能性があると判断された場合、保険で遺伝子検査が補償されることがよくあります。遺伝カウンセラーはあなたの病歴を調べて、どの遺伝子検査があなたに適しているか、またそれが保険で補償されるかどうかを判断するでしょう。



勧められた検査や手術は保険で補償 されますか?

契約中の保険会社に確認する必要があります。一部の医療システムや診療所は、この確認をしてくれます。

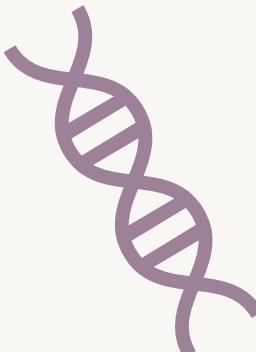


遺伝カウンセリング と検査に関する 一般的な考え方

遺伝カウンセリングはがんを患った人

だけのためのもの：誤り

遺伝カウンセラーは、がんにかかったことがある人と、がんにかかったことがない人の両方を診察します。遺伝カウンセラーは、がんの家族歴によりがんになる可能性が高いかどうかを調べる助けとなります。



遺伝子検査には複数の支払いオプション

が用意されている：正しい

多くの保険会社は遺伝子検査を補償します。一部の研究所では、保険に加入していない、保険が不十分である、または遺伝子検査を受ける余裕がない場合に、セルフペイ（自己負担）オプションや財政援助プログラムを提供しています。



遺伝カウンセラーに相談すれば遺伝子
検査を受ける必要はない：正しい
遺伝子検査を受けるかどうかはあなたの判断です。



遺伝カウンセリングは大都市に住んでいる
場合にのみ利用できる：誤り

米国ミシガン州の多くの医療センターには遺伝カウンセラーが在籍しています。一部の診療所ではビデオや電話による診察を提供しているため、治療を受けるために来院する必要はありません。



がんのリスクが高い人は性別を問わず誰でも
遺伝カウンセリングや遺伝子検査を受けること
で恩恵を受けることができる：正しい

あらゆる性別、人種、民族の人々に影響を与える可能性
のある遺伝性がんには、さまざまな種類があります。





乳がんのリスクは母親を通じてのみ受け継がれる：誤り

乳がんのリスクはいずれかの親から受け継がれます。これは、前立腺がんや卵巣がんなど、一方の性別にのみ発症することが多い他の種類のがんにも当てはまります。

遺伝的にがんのリスクがある場合、がんを発症する：誤り

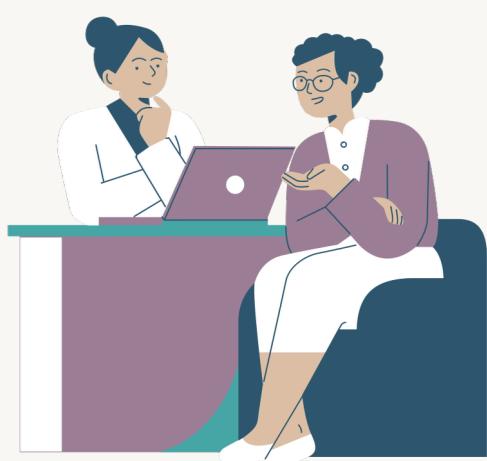
遺伝的にがんのリスクがある人全員ががんになるわけではありません。

がんのリスクが高い場合は、検査と治療の選択肢が用意される：正しい

かかりつけの医師は、がんのリスクを軽減したり、がんを早期に発見して治療を容易化したりするための選択肢を提案することができます。

遺伝的にがんのリスクがあっても、健康保険の適用を拒否されることを防ぐ法律が存在する：正しい

個人を遺伝情報に基づく健康保険や雇用差別から保護する連邦法が存在します。米国内のほとんどの州でも保護を提供する法律が定められています。



他に質問や心配事はありませんか？次のページにアクセスしてください：
migrc.org/providers/michigan-cancer-genetics-alliance

または、ミシガン州保健福祉省 (Michigan Department of Health & Human Services, MDHHS) Hereditary Cancer Hotline
にお電話ください：
866-852-1247